

<取付手順：トッププレート及びベースプレートの取付>

1. 線路側搭載用品

- 1) トッププレートV2の取付
 - ①右図に示す既設MDFのボルトを外しトッププレート取付用支柱Lに付け替えます。
 - ②トッププレートV2をトッププレート取付支柱Lに通して添付のM6ボルトにて取り付けます。
- 2) 中間トッププレートV1の取付
 - ①図に示す既設MDFのボルトを外しトッププレート取付支柱Lを取り付けます。
 - ②中間トッププレートV1をトッププレート取付支柱Lに通して添付のM6ボルトにて取り付けます。
- 3) ベースプレートV3の取付
 - ①図に示す既設MDFのボルトを外しベースプレート取付支柱Lを取り付けます。
 - ②ベースプレートV3をベースプレート取付支柱Lに通して添付のM6ボルトにて取り付けます。

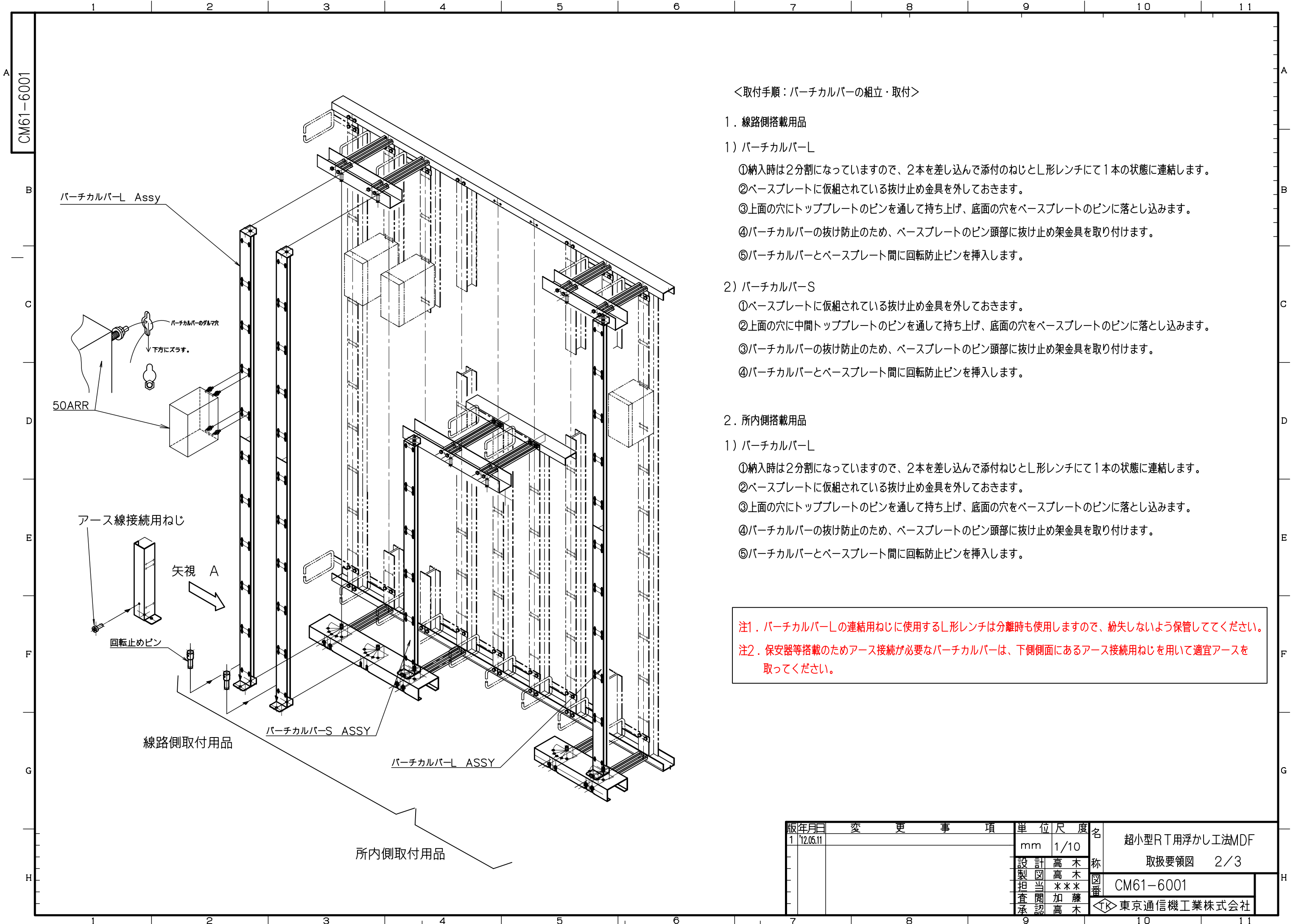
注1. 各取付支柱Lへの付け替えは、ボルトを1個外す毎に行ってください。
 注2. トッププレート取付支柱Lの長さは約260mm、またベースプレート取付支柱Lに長さは約300mmです。
 取付支柱の取付は、空回り防止のため必ずねじ部にばね座金と平座金を入れて行ってください。
 また各取付支柱の取り付けにあたっては、寸法類似品があるため他のものと同様にならないよう注意してください。
 注3. 外したボルトは、浮かし工法MDFを撤去時に再使用しますので紛失しないよう保管してください。

2. 所内側搭載用品

- 1) トッププレートV2の取付
 - ①右図に示す既設MDFのボルトを外しトッププレート取付用支柱Sに付け替えます。
 - ②トッププレートV2をトッププレート取付支柱Sに通して添付のM6ボルトにて取り付けます。
- 2) ベースプレートV2の取付
 - ①図に示す既設MDFのボルトを外しベースプレート取付支柱Sを取り付けます。
 - ②ベースプレートV2をベースプレート取付支柱Sに通して添付のM6ボルトにて取り付けます。

注1. 各取付支柱Lへの付け替えはボルトを1個外す毎に行ってください。
 注2. トッププレート取付支柱Sの長さは約225mm、またベースプレート取付支柱Sに長さは約265mmです。
 取付支柱の取付は、空回り防止のため必ずねじ部にばね座金と平座金を入れて行ってください。
 また各取付支柱の取り付けにあたっては、寸法類似品があるため他のものと同様にならないよう注意してください。
 注3. 外したボルトは、浮かし工法MDFを撤去時に再使用しますので紛失しないよう保管してください。

版年月日	変 更 事 項	単 位 尺 度	名 称
1 '12.05.11		mm 1/10	超小型RT用浮かし工法MDF
		設 計 高 木	取扱要領図 1/3
		製 図 高 木	図 番 CM61-6001
		担 当 ***	東 京 通 信 機 工 業 株 式 有 限 公 司
		査 閲 加 藤	
		承 認 高 木	



<取付手順：パーチカルバーの組立・取付>

1. 線路側搭載用品

1) パーチカルバーL

- ①納入時は2分割になっていますので、2本を差し込んで添付のねじとL形レンチにて1本の状態に連結します。
- ②ベースプレートに仮組されている抜け止め金具を外しておきます。
- ③上面の穴にトッププレートのピンを通して持ち上げ、底面の穴をベースプレートのピンに落とし込みます。
- ④パーチカルバーの抜け防止のため、ベースプレートのピン頭部に抜け止め架金具を取り付けます。
- ⑤パーチカルバーとベースプレート間に回転防止ピンを挿入します。

2) パーチカルバーS

- ①ベースプレートに仮組されている抜け止め金具を外しておきます。
- ②上面の穴に中間トッププレートのピンを通して持ち上げ、底面の穴をベースプレートのピンに落とし込みます。
- ③パーチカルバーの抜け防止のため、ベースプレートのピン頭部に抜け止め架金具を取り付けます。
- ④パーチカルバーとベースプレート間に回転防止ピンを挿入します。

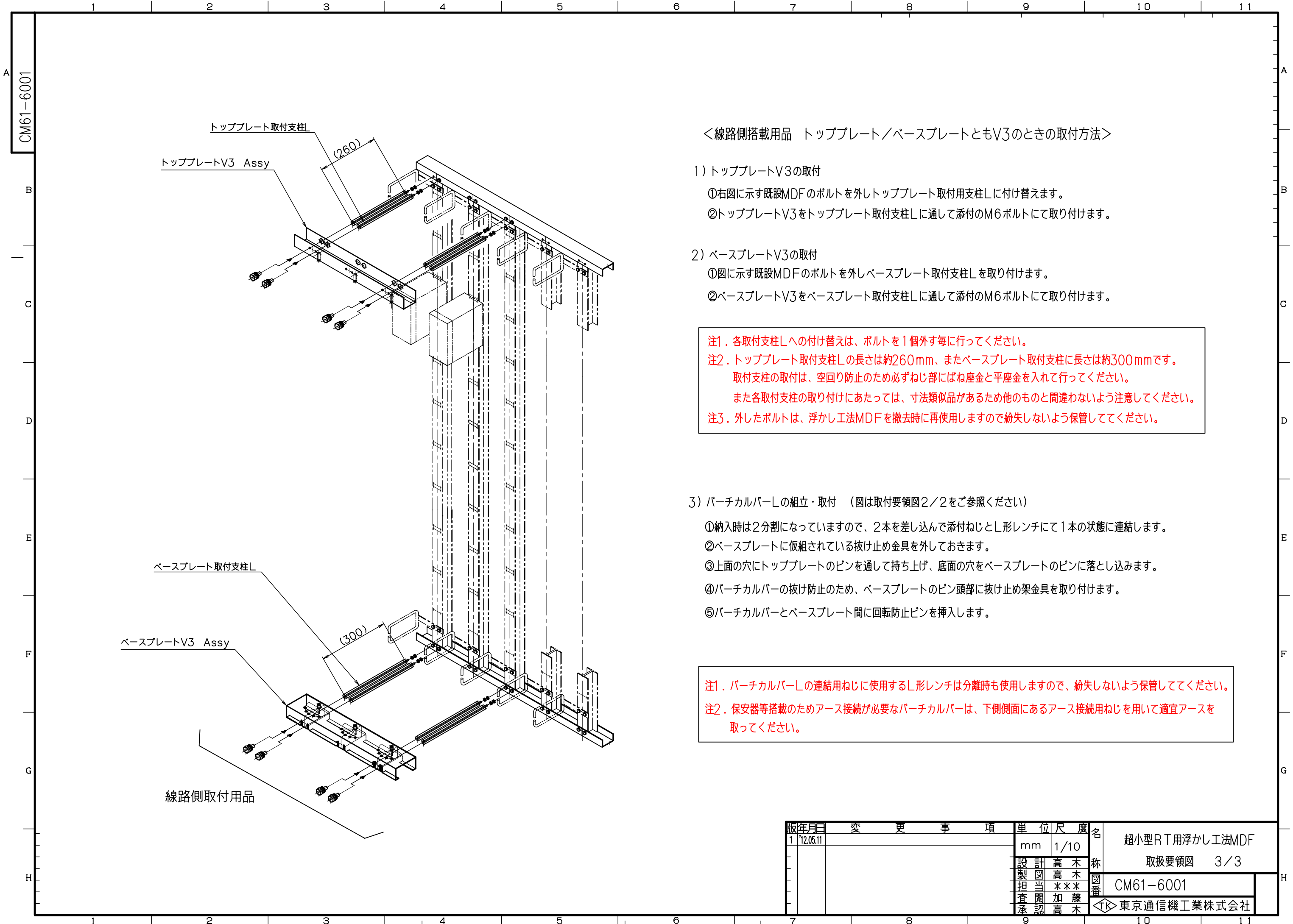
2. 所内側搭載用品

1) パーチカルバーL

- ①納入時は2分割になっていますので、2本を差し込んで添付ねじとL形レンチにて1本の状態に連結します。
- ②ベースプレートに仮組されている抜け止め金具を外しておきます。
- ③上面の穴にトッププレートのピンを通して持ち上げ、底面の穴をベースプレートのピンに落とし込みます。
- ④パーチカルバーの抜け防止のため、ベースプレートのピン頭部に抜け止め架金具を取り付けます。
- ⑤パーチカルバーとベースプレート間に回転防止ピンを挿入します。

注1. パーチカルバーLの連結用ねじに使用するL形レンチは分離時にも使用しますので、紛失しないよう保管してください。
 注2. 保安器等搭載のためアース接続が必要なパーチカルバーは、下側側面にあるアース接続用ねじを用いて適宜アースを取ってください。

版年月日	変 更 事 項	単 位 尺 度	名 称
1 '12.05.11		mm 1/10	超小型RT用浮かし工法MDF
		設 計 高 木	取 扱 要 領 図 2/3
		製 図 高 木	番 号 CM61-6001
		担 当 ***	製 造 東 京 通 信 機 工 業 株 式 有 限 公 司
		査 閲 加 藤	
		承 認 高 木	



CM61-6001

＜線路側搭載用品 トッププレート/ベースプレートともV3のときの取付方法＞

1) トッププレートV3の取付

- ①右図に示す既設MDFのボルトを外しトッププレート取付用支柱Lに付け替えます。
- ②トッププレートV3をトッププレート取付支柱Lに通して添付のM6ボルトにて取り付けます。

2) ベースプレートV3の取付

- ①図に示す既設MDFのボルトを外しベースプレート取付支柱Lを取り付けます。
- ②ベースプレートV3をベースプレート取付支柱Lに通して添付のM6ボルトにて取り付けます。

注1. 各取付支柱Lへの付け替えは、ボルトを1個外す毎に行ってください。
 注2. トッププレート取付支柱Lの長さは約260mm、またベースプレート取付支柱に長さは約300mmです。
 取付支柱の取付は、空回り防止のため必ずねじ部にはね座金と平座金を入れて行ってください。
 また各取付支柱の取り付けにあたっては、寸法類似品があるため他のものと間違わないよう注意してください。
 注3. 外したボルトは、浮かし工法MDFを撤去時に再使用しますので紛失しないよう保管してください。

3) パーチカルバーLの組立・取付 (図は取付要領図2/2をご参照ください)

- ①納入時は2分割になっていますので、2本を差し込んで添付ねじとL形レンチにて1本の状態に連結します。
- ②ベースプレートに仮組されている抜け止め金具を外しておきます。
- ③上面の穴にトッププレートのピンを通して持ち上げ、底面の穴をベースプレートのピンに落とし込みます。
- ④パーチカルバーの抜け防止のため、ベースプレートのピン頭部に抜け止め架金具を取り付けます。
- ⑤パーチカルバーとベースプレート間に回転防止ピンを挿入します。

注1. パーチカルバーLの連結用ねじに使用するL形レンチは分離時にも使用しますので、紛失しないよう保管してください。
 注2. 保安器等搭載のためアース接続が必要なパーチカルバーは、下側側面にあるアース接続用ねじを用いて適宜アースを取ってください。

版年月日	変更事項	単位	尺度	名
1 '12.05.11		mm	1/10	超小型RT用浮かし工法MDF
		設計	高木	称
		製図	高木	取付要領図 3/3
		担当	***	図番
		査閲	加藤	CM61-6001
		承認	高木	東京通信機工業株式会社